

JATピックアップ

JA広報誌の記事を中心に毎月のトピックスを紹介します。

2011年2月

6カ所で 地区別懇談会

本組合の地区別懇談会が2月15、16、19日の3日間、6会場で開かれました。懇談会には延べ79名の組合員が出席（出席率34%）。平成22年度の収支見込み、各部の23年度事業計画が担当部長からそれぞれ説明され、組合収支の緊縮化を踏まえて高橋組合長は「組合への更なる結集、積極的な参画を」と理解を求めました。

意見交換では、小



麦乾燥調整施設について利用料の設定や自乾麦受入に関する意見が出されたほか、信連への増資、組織機構の改正、農事組合の再編、TTPへの対応などに幅広い意見要望が出されました。



JAT内さくらんぼの会 ふれあい会

JAT内さくらんぼの会（白木艶子会長）のふれあい会が2月22日、幕別温泉パークホテル悠湯館で開かれ、組合員家庭の80歳以上の高齢者31名を招いて健康体操や昔の遊び（百人一首）を通して交流を深めました。

この事業は北海道共同募金会の



助成を受けて平成15年から毎年実施され、今年が9回目。

白木会長、高橋組合長の挨拶に続いて午前中は高齢者向け健康体操として人気がある「ふまねっと」を体験。昼食や百人一首はさくらんぼの会の会員も輪に加わり、楽しいひと時を過ごしました。